

# 浅中十ウ



## 令和3年度 学力・学習状況調査 分析と今後の対策について

今年度の学力・学習状況調査（全国版・袋井版）の結果を受け、本校で問題や質問を分析し、本校の生徒に見られる顕著な表れに的を絞って記述しています。今後は、生徒のさらなる学力向上を目指し、以下の対策に取り組むとともに、家庭と連携して一人ひとりの生活習慣も充実させたいと考えています。保護者の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

### 1 生活習慣や学習環境に関する質問紙（○よい点 ◆課題が見られる点）

	主な傾向	本校としての取組・御家庭へのお願い
一 年 生	<p>○数学の授業で、グループで協力して問題を解いて発表することがある。 （全国：59.4%、本校：69.2%）</p> <p>○次の日の授業に必要な教科書やノートなどは、前の日に準備している。 （全国：80.0%、本校：87.2%）</p> <p>○自分の得意な分野をさらに伸ばすために、家で自分なりに学んでいることがある。 （全国：71.6%、本校：76.6%）</p> <p>○テレビやラジオをつけないで集中して学習している。 （全国：60.6%、本校：70.9%）</p> <p>◆自分の意見や考えを相手にわかりやすく伝えることができる。 （全国：58.6%、本校：46.0%）</p> <p>◆社会で問題になっていることについて、どうすればよいか、考えたことがある。 （全国：63.7%、本校：51.8%）</p>	<p>本校としての取組・御家庭へのお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習に対して前向きに考えている様子がうかがえます。授業でも、生徒への課題の提示の仕方を工夫していきます。さらに、かわり合いをもつことのよさや、より学習が楽しむことができるように、グループ学習を活用していきます。</li> <li>・自分の考えをわかりやすく伝えることは学習だけでなく、生活でも必要になっていきます。日々の生活の中でトラブルが減少するように、伝え合う力について学習や生活の中で鍛えていきます。</li> </ul>
三 年 生	<p>○友達と協力することは楽しいと思えますか。 （全国：65.8%、本校：71.7%）</p> <p>○今住んでいる地域の行事に参加していますか。 （全国：16.3%、本校：52.5%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで行うことは楽しく、積極的に行うことができます。さらにこの力を、個人で考え、実行することにつなげていけるように、指導、助言していきます。</li> </ul>



三年生	<p>○あなたは学校で、ICT 機器を他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。 (全国：9.7%、本校：51.5%)</p> <p>◆携帯電話やコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。 (全国：30.9%、本校：27.3%)</p> <p>◆将来の夢や目標をもっていますか。 (全国：40.5%、本校：33.3%)</p>	<p>・将来のことについて話すことによって、夢をもち一生懸命やっという気持ちになります。御家庭でも将来について考える時間をもっといただけたらうれしく思います。</p>
		

## 2 教科に関する調査 (○よい点 ◆課題が見られる点)

### 【国語】

	学力調査から見えた顕著な表れ	今後の対策や継続する点
二年生	<p>○説明的文章を読み取る力が全国平均までついています。その中でも図の内容と本文を読み取る力が全国平均より高かったです。 &lt;正答率&gt; 説明的文章 (全国 57.1%、本校 57.1%) 図の内容と本文 (全国 78.4%、本校 80.8%)</p> <p>◆全体的に全国平均より低かったです。特に文学的文章の登場人物の心情を考える問題の正答率が低かったです。 &lt;正答率&gt; 教科総合 (全国 75.0%、本校 67.9%) 登場人物の心情書き抜く (全国 62.6%、本校 57.1%) 登場人物の心情を選ぶ (全国 75.2%、本校 70.2%)</p>	<p>・すべての教科の基礎を支える教科として、読み書き、話すことの応用力を高めるために、適切に書く力や、話し合い活動で伝え合う力をつける場面、また、新聞やインターネット等を適切に活用して情報を発信する場面を授業に取り入れます。</p>
三年生	<p>○意見文の内下書きの構成の工夫について、自分の意見を書く問題では、文章の構成の工夫を相手に分かりやすく伝わるように書くことができ正答率が高かったです。 (正答率 全国：74.5%、本校：81.2%)</p>	<p>・授業における言語活動の中で、具体的な箇所を示しながら、意見を述べたり、自分の表現に役立てたりするように、今後も指導していきます。</p>



三年生	<p>○誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由について、話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることができ正答率が高かったです。 (正答率 全国：57.1%、本校：61.9%)</p> <p>◆事象や行為などを表す多様な語句についての理解が不十分でした。 (正答率 全国：74.0%、本校：68.5%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を述べたり話を聞いて判断する力に加え、活動の進み具合を客観的に把握したり、それまでを振り返ってこれからの展開を考えたりする力を伸ばしていきます。</li> <li>・話や文章の中の語彙に関心を持ち、意味を調べ、実際にその語彙を使い、自分の考えを表現できるように指導していきます。</li> </ul>
-----	--	--

## 【数学】

	学力調査から見えた顕著な表れ	今後の対策や継続する点
一年生	<p>○「数と式」領域において、ある数より大きい数を答える問題の正答率が高かったです (正答率 全国：88.4%、本校：88.5%)</p> <p>◆「関数」領域において、反比例のときの対応する値を求める問題で正答率が低かったです。 (正答率 全国：49.2%、本校：24.2%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの領域において、授業の中で基礎的な言葉の意味を使うことで、数学的用語やその使い方を理解し、正しく使えるように継続します。</li> <li>・分数の計算など、算数の計算の内容から復習し、基礎知識の定着を図っていきます。</li> </ul>
三年生	<p>○「数と式」領域において、事柄が成り立つ理由を説明する問題の正答率が高かったです。 (正答率 全国 61.8%、本校 64.5%)</p> <p>○「関数」領域において、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題の正答率が高かったです。 (正答率 全国：93.5%、本校 95.4%)</p> <p>◆「図形」領域において、錯角が等しくなるための2直線の位置関係を、記号で表す問題の正答率が低かったです。 (正答率 全国 64.3%、本校 57.9%)</p> <p>◆「関数」領域において、数量関係を言葉で表現する問題の正答率が低かったです。 (正答率 全国 48.0%、本校 40.1%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの領域において、授業の中で、言葉や式で説明する活動を設定し、さらに説明や証明の問題への抵抗がなくなるように継続します。</li> <li>・数学的な考えが身に付くように、表やグラフから考察し、I C T機器を活用してお互いに意見交換する場を確実に作っていくことを、今後も継続していきます。</li> <li>・図形や関数の用語の理解を大切にし、正しく使えるように、授業でくり返し使用していきます。</li> <li>・図形について、様々な問題に触れさせることで、より深い理解を図っていきます。</li> </ul>



## 《中学校ホームページ》

ホームページでも閲覧できます。「学校ブログ」日々の生徒・学校の様子をアップしています。  
【浅羽中 HP QRコード】→

